



みつめよう未来 かたためよう夢



宮崎県立門川高等学校
 発行責任者：校長 勝河 元春
 TEL 0982-63-1336
 FAX 0982-63-5194
 HP <http://www.miyazaki-c.ed.jp/kadokawa-ah/>

入学式(4月10日)

4月10日(日)晴れわたった青空のもと、桜の花びらが新入生を包み込む中、宮崎県立門川高校で入学式が行われました。吹奏楽部の演奏で入場してきた160名(男子68名、女子92名)の新入生は緊張した面持ちでクラスの後、校長先生が式辞を述べられ、新入生誓いの言葉、門川町長の祝辞、PTA会長祝辞と続き、新入生への祝電が披露されました。



校長先生は式辞の中でコブクロの『蕾』の一説を持ちだし「ビルの谷間に埋もれた夢もいつか芽吹いて、花を咲かすだろう。信じた夢は咲く場所を選ばない」と新入生を激励しました。新入生誓いの言葉では1年4組甲斐夏海さんが「強い決意を持ちこれから始まる高校生活への夢や希望に溢れています。門川高校生としての自信と誇りを胸に日々の学習や実習、部活動に努力することを誓います」と力強く宣誓を行いました。門川町町長は祝辞の中で「友達と夢を語り合ってください。一番の成長期であり、エネルギー溢れる時期であります。花を咲かせる土台となります。PTA会長は「一人ひとり輝いている学校です。この校風の中で自分らしさを見つけ将来を切り開いて行って欲しい。」と述べられました。

始業式(4月8日)

今年の始業式は東日本大震災で被災した児童生徒・地域を思い悼む言葉から始まりました。校長先生が「今日、こうして本校は平穏の中、始業式を迎えますが震災で被災した東北地方の学校の中には学校を閉こうと思っても開くことのできない学校があります。原子力発電の事故のために避難勧告の出ている学校や亡くなった方の遺体安置所になっている学校、被災した方の避難所になっている学校があります。どうか皆さん、被災した人々の中にあなた方の同世代の高校生がいて、苦しんでいる状況にあることを理解し、今何をすべきか考えてください」と呼びかけられました。そして「皆さんの学校にやってくる避難してきた仲間たちを温かく迎えてあげてください。すぐ近くに、そういった友達がなくても、遠く離れて不自由な生活をしている同世代の友達を、同じ仲間、友達だと思ってください。そして、被害を受けた仲間の声に耳を澄ましてください。」と内閣総理大臣からの声明を読み上げられました。続いて、門川高校の生徒に望むこととして、二つのことを話されました。『何事も一生懸命真面目に取り組んでほしい。上杉鷹山の「為せばなる。為さねばならぬ何事も。ならぬは人の為さぬなりけり」という言葉があります。物事がうまくいかないのは人のせいでも環境でもない。全て自分のせいということ。その具体的な目標として二つのことを挙げます。一つは遅刻をしないということ。もう一つは勉強をしてくださいということ。授業に部活動に一生懸命取り組んで、面と向かって話し合える本当の友人をつくる励んでください。次にルールを守るということ。ルールを守ることが周囲に対する思いやりや気配りを身につけることです。自分の行動が友達に迷惑をかけていないか考えてください。不愉快にさせていないか考えてください。そのようなことを考えさせるのがルールじゃないかと思えます。』校長先生は最後に「もう一度東日本大震災について触れました。『機会を設け、東日本大震災で被災した人々に哀悼をささげたいと思います。』例年とは異なる言葉のスタートとなりました。」

今年の始業式は東日本大震災で被災した児童生徒・地域を思い悼む言葉から始まりました。校長先生が「今日、こうして本校は平穏の中、始業式を迎えますが震災で被災した東北地方の学校の中には学校を閉こうと思っても開くことのできない学校があります。原子力発電の事故のために避難勧告の出ている学校や亡くなった方の遺体安置所になっている学校、被災した方の避難所になっている学校があります。どうか皆さん、被災した人々の中にあなた方の同世代の高校生がいて、苦しんでいる状況にあることを理解し、今何をすべきか考えてください」と呼びかけられました。そして「皆さんの学校にやってくる避難してきた仲間たちを温かく迎えてあげてください。すぐ近くに、そういった友達がなくても、遠く離れて不自由な生活をしている同世代の友達を、同じ仲間、友達だと思ってください。そして、被害を受けた仲間の声に耳を澄ましてください。」と内閣総理大臣からの声明を読み上げられました。続いて、門川高校の生徒に望むこととして、二つのことを話されました。『何事も一生懸命真面目に取り組んでほしい。上杉鷹山の「為せばなる。為さねばならぬ何事も。ならぬは人の為さぬなりけり」という言葉があります。物事がうまくいかないのは人のせいでも環境でもない。全て自分のせいということ。その具体的な目標として二つのことを挙げます。一つは遅刻をしないということ。もう一つは勉強をしてくださいということ。授業に部活動に一生懸命取り組んで、面と向かって話し合える本当の友人をつくる励んでください。次にルールを守るということ。ルールを守ることが周囲に対する思いやりや気配りを身につけることです。自分の行動が友達に迷惑をかけていないか考えてください。不愉快にさせていないか考えてください。そのようなことを考えさせるのがルールじゃないかと思えます。』校長先生は最後に「もう一度東日本大震災について触れました。『機会を設け、東日本大震災で被災した人々に哀悼をささげたいと思います。』例年とは異なる言葉のスタートとなりました。」

新任式(4月8日)

始業式の前に新任式が行われました。今年、新任、転任された先生は8名です。校長先生による紹介の後、御一人御一人新任地門川高校への思いを話されました。また新しい担任、各部主任の先生も紹介されました。

- 新転任者の紹介**
- | | |
|------|----------|
| 教頭先生 | 後藤 徹一先生 |
| 事務長 | 濱畑 芳彦先生 |
| 英語 | 川端 祐介先生 |
| 農業 | 俵 準一先生 |
| 農業 | 梅木 重幸先生 |
| 農業 | 新名 辰也先生 |
| 福祉 | 眞栄城 厚乃先生 |
| 就職支援 | 黒木 新市先生 |



朝の読書

門川高校では朝の10分間を使い毎日読書を行っています。1年間続けると30時間。数冊の本を読むことができます。無駄にせず大切に使いましょう。



服装容儀指導(生徒指導部)

門川高校では、昨年度からマナーアップカード制を導入し、服装規定の基準に反する服装や、自転車の二人乗りなどに対し指導カードを渡しています。カードを渡されたら3日以内に保護者の確認印をもらい、指定された先生方3名に指導を受けます。期日内に指導を受ければよいのですが、指導を拒否したり、提出し忘れた場合はさらに厳しい指導が入ります。

服装容儀指導「厳しい」「うるさい」ではなく、服装容儀指導「人間関係作りです。そしてさらに大きな目的は、皆さんの進路を保障することにあります。「人は見た目が9割」といわれます。皆さんが思っている以上に、人は第一印象で判断しています。自己満足の見た目にとらわれず、今の自分にとって何が一番大切なのか考えた行動をとりましょう。

対面式(4月10日)

入学式終了後、対面式が行われました。在校生代表として生徒会長の直野弥呼(みこ)さんが「高校生活を迎える中で、勉強の不安や友達関係の不安など必ず出てきます。そのようなときには簡単に投げ出さないうでください。焦らずゆっくり考えたら、きっと良い方法が見つかります。分からないことがあったら、何でも聞いてください。私たち2年生3年生は優しくサポートします。」新入生代表として1年3組の黒田勇氣君が「学校行事を頑張りたい、先輩たちと仲良くなれるようにしたいと思います。迷惑をかけるとは思いますがよろしくお願いします。」とあいさつしました。

列車通学生集会(4月13日)

本校の列車通学生は日向方面からの生徒、延岡方面からの生徒を合わせ163名います。列車内でのマナーのみならず駅周辺、駅からの行き帰りについてもマナーを守り門川高校生としての品位を落とさないよう指導がありました。

卒業記念品

第4期卒業生から電波式ソーラー時計が贈られました。正門に向かって右側にあり、門川高校生の時を刻んでいます。



- ### 5月の行事予定
- 4月26日(火) 28日(木) 1年次行旅宿泊研修
 - 5月2日(月) 歓迎遠足
 - 5月6日(金) 5月31日(火) 三者面談期間
 - 5月8日(日) PTA総会
 - 5月13日(金) 企業上級学校見学
 - 5月18日(水) 20日(金) 第1回定期テスト
 - 5月24日(火) PTA総会2次集会
 - 5月25日(水) 進路講演会
 - 5月26日(木) 農業クラブ総会
 - 5月27日(金) 生徒総会
 - 5月28日(土) 5月31日(火) 高校総体